



松本市図書館だより

平成29年 2月1日発行 第47号

編集・発行 松本市
中央図書館
〒390-0861
松本市蟻ヶ崎 2-4-40
電話/0263(32)0099

バレンタインデーの由来

古代ローマでは、兵士が結婚をすることは禁じられていました。故郷に家族を残して戦争に行ってしまうと、兵士の士気が下がってしまうのではないかと考えたからです。しかし、キリスト教の神父である聖バレンタインはそれに反対し、こっそりと兵士たちを結婚させていました。このことが、当時のローマ皇帝に見つかってしまい、処刑されてしまいます。その日が2月14日でした。のちに欧米ではこの日を「愛の記念日」とし、好きな人にプレゼントを贈るようになりました。



日本と外国の違い

- ◆日本
女性から男性へチョコレートを贈る。男性だけでなく、お世話になった人や友だち同士で交換することもある。
- ◆アメリカ
家族や友人、お世話になっている人へカードやお菓子を送る。恋人や夫婦は男性から女性へバラの花を贈る。
- ◆イタリア
恋人同士や夫婦など決まった相手と過ごす。プレゼントを交換する。
- ◆イギリス
男性が女性に名前を書かずにカードを送り、「ひそかな思い」を伝える。
- ◆サウジアラビア
バレンタインデーを禁止している。



2月14日(火)はバレンタインデー!

少し前までは、女性が男性へチョコレートを贈る日というイメージが強かったのですが、最近は男性から女性へ、友達



同士で、さらには自分へのご褒美としてなど、装いも変わってきました。日頃お世話になっている人に感謝の気持ちを伝えてみませんか?

HAPPY VALENTINE'S DAY

バレンタインいろいろ

- ♥日本では「バレンタインデー」のお返しの日として「ホワイトデー」がありますが、外国ではあまり行われていません。
- ♥4月14日は「オレンジデー」として、二人の愛情を確かなものにする日とされています。
- ♥韓国では4月14日にバレンタインやホワイトデーに恋人ができなかった人同士が黒い服を着て、チャジャン麺(黒いあんかけ麺)やブラックコーヒーなど黒い飲食物を食べる「ブラックデー」があります。



手作りチョコを愛する人に・・・

レシピブックも多数取り揃えております

2月の図書館イベント

☆スクラップブック講座☆

日時 2月25日(土) 13時30分~15時30分
場所 空港図書館 会議室
対象 大人または親子
材料費 500円または1000円(対象により)
お申込み・お問い合わせ 空港図書館 ☎86-8460



☆折り紙教室☆

日時 2月25日(土) 10時30分から90分ほど
場所 梓川図書館 2階 会議室
対象 どなたでも
定員 24名(要申し込み)
お申込み・お問い合わせ 梓川図書館 ☎76-2070



☆スクラップブックって?☆

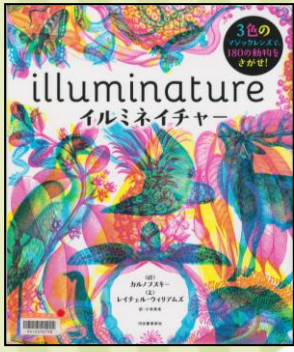
思い出の写真を、そのままアルバムにするのではなく、クラフトテープやステッカーなどを使い、可愛くデコレーションしたものです。思い出がよりいっそう鮮明に残りますよ♪

☆絵本の中の料理教室☆

今回は「わかったさんのクッキー」を作ります。
日時 2月18日(日) 10時30分~13時
場所 なんなんひろば 3階 料理実習室
定員 親子12組(要申し込み) 材料費 700円
持ち物 エプロン・三角巾・タオル
お申込み・お問い合わせ 南部図書館 ☎26-1083(代)



新刊のご案内



『イルミネイチャー』

カルノフスキー／絵 レイチェル・ウィリアムズ／文 東京：河出書房新社

【J48ウ 所蔵：中央、西部、本郷】

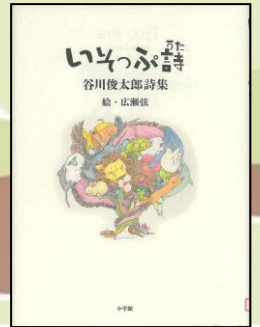
ジャングル、山脈、砂漠など、世界の中でも特色ある10の地域の野生動物の昼と夜の生態を学べます。ページをめくると不思議でカラフルなイラストがたくさん…付属のマジックレンズでのぞいてみてください！あっと驚く美しい世界を探検できます！お子様はもちろん、大人の方まで一緒に楽しんでいただける1冊です。

『イソップ詩 谷川俊太郎詩集』

谷川 俊太郎／詩 広瀬 弦／絵 東京：小学館

【911.5タ 所蔵：中央、南部、中山、空港】

イソップ童話を題材に谷川俊太郎が書き下ろした詩集です。皆さんの知っているイソップ童話とは少し違った展開でユーモアあふれる作品です。詩に合わせた広瀬弦の絵も見どころの一冊です。一度お手に取ってみてください。



予約本ベスト5

平成28年12月15日～

平成29年1月15日受付

一般書

- 1位『雪煙チェイス』東野 圭吾／著、実業之日本社
- 2位『三鬼』 宮部 みゆき／著、日本経済新聞出版社
- 3位『よるのばけもの』 住野 よる／著、双葉社
- 4位『コンビニ人間』 村田 沙耶香／著、文藝春秋
- 『沈黙法定』 佐々木 譲／著、新潮社

児童書

- 1位『おしりたんてい プッおしりたんていがふたりいる！？』 トロル／作・絵、ポプラ社
- 1位『かいけつゾロリの王子さまになるほうほう』 原 ゆたか／作・絵、ポプラ社
- 3位『なつみはなんにでもなれる』 ヨシタケ シンスケ／さく、PHP 研究所
- 4位『アイドル王子は知っている』 藤本 ひとみ／著、講談社
- 『ハリー・ポッターと呪いの子』（第一部・第二部） J. K. ローリング／著、静山社
- 『ほねほねザウルス 17』 カバヤ食品株式会社／原案・監修、岩崎書店
- 『都会（まち）のトム&ソーヤ 14上』 はやみね かおる／著、講談社

図書館に聞いてみよう！

【今月の事例】

Q. 初午^{はつま}の由来を知りたい。

また、油あげをお供えするのはなぜか？

A.

ア『親子で楽しむ日本の行事』

新谷 尚紀／監修（日本文芸社 2012年）

イ『春夏秋冬を楽しむくらし歳時記』

生活たのしみ隊／編（成美堂出版 2013年）

ウ『家族で楽しむ 子どものお祝いごとと季節の行事』

平凡社／編（平凡社 2014年）

季節ごとの行事について書かれている資料で調べました。これらの資料によると、初午とは新暦2月最初の午の日のことで、全国の稲荷神社でお祭りが行われるそうです。西暦711年2月最初の午の日に、京都にある伊奈利山（伏見稲荷神社のご神体）に馬に乗ったウカノミタマノカミという神様が降臨したとされるのが由来となっています。

初午の日に油あげをお供えする理由としては、ウの資料（p23）に詳しい記述がありました。稲荷は「稻生り」に由来するため、穀物の神様だと考えられます。そこで初午には、たくさんの実りがありますようにと神様にお願いするお祭りをして、お神酒やお赤飯とともに稲荷神の使いとされるきつねの好物の油あげをお供えするそうです。

図書館には、調べ物のお手伝いをするサービスがあります。本についての問い合わせ以外にも、身近な疑問についてもお調べしていますので、お気軽にご利用ください。

FMまつもと 今月の出演

2月 1日（水）12:30～

チャンネル：79.1MHz

※放送日等変更になる可能性もあるのでご了承ください



フェイスブック QR コード

フェイスブックやっています！

松本市図書館 アルプスの山々